

虫愛づる画家が描く 美しき細密点描イモムシ画譜

体長わずか数センチのイモムシを虫眼鏡で覗き込むと、そこには小さな天の川のような世界が広がっていた。飼育観察しながらイモムシを描く、虫愛づる画家の作品 68 点を収録した、美しき細密点描イモムシ画譜。第 101 回ニューヨーク ADC 賞ブロンズキューブ受賞。

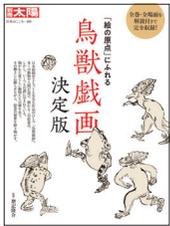
わたしはイモムシ
桃山鈴子:著 工作舎
B5変型判上製 148頁 2021年6月刊 ISBN:9784875025276 4,180円



「空飛ぶ宝石」カワセミの 知られざる魅力に迫る!

「翡翠」と表記される名のとおり美しい青の羽色で愛される野鳥「カワセミ」。魅力とひみつの数々(生態等のわかる雑学要素)を詰め込んだビジュアルガイドです。美しく豊富なビジュアルでカワセミの世界を見て、読んで、たっぷり味わえる一冊。

にっぽんのカワセミ
矢野 亮:監修 ポンプラボ:編集 カンゼン
A5判並製 112頁 2021年4月刊 ISBN:9784862555939 1,650円



日本美術・絵巻の新進気鋭の 研究者の全巻・全場面解説付き!

日本絵画史上もっとも有名な作品のひとつ「鳥獣戯画」。多くの動物や人間が戯れるこの絵巻は、いつ、誰が、何のために描いたのか。その真相はいまだ謎に包まれている。描かれた愛らしい動物たちの線をめで、その動きに心躍らせながら、絵巻の秘密を解き明かす。

鳥獣戯画 決定版 (別冊太陽 日本のこころ 288)
増記隆介:監修 平凡社
A4変型判並製 148頁 2021年4月刊 ISBN:9784582922882 2,750円

* 価格は10%税込、2025年11月のものです。

出版者クイズ

なんと名前前の出版社かわかりますか?

① 1990 年、雑誌編集者出身の当時の社長が書籍の定型サイズを知らず作ってしまった CD サイズ。「こんな置けない」「本に見えない」等の不評を「おしゃれじゃん!」でひっくり返し若い女性中心に大ヒット。書店に専用コーナーができれば売れるモンスター企画。

② 書店に忽然と現れる巨大なモニュメント。船首、寺院、マルシェ、王国…店頭販促物は営業の熱い思いが形になった“魂の結晶”。

③ ロングセラー商品を勢いあまって大增刷。多数の在庫を抱えるも、営業のアイデアで思い切ってカバーを花柄に衣替え。読者がひろがり 150 万部。

④ 現社長の趣味はお酒と観劇 (いまは timelessz ダントツ)。「当たり前」にとらわれず、新しい視点を見つけるとわくわくする!!とその目がキラリ。

クイズのお答え



「あなた任せから、わたし次第へ。」
このパパスを胸に、40周年を経たこれから、私たちは出版の枠を超えた挑戦を続けます。

1985年、「21世紀を拓く会社」として創業。社名の由来は「覆いを外す」。既成概念や前例という覆いを取り払い、新たな価値を見出し、自分自身を変革する。そんなミッションを社名に込めています。創業当初から、取次を通さないう書店の直取引という独自の流通形態を確立。CDサイズの開発や女性とシブ本など、新たなクリエイションにも取り組んできました。

ティエスカヴァー・トウエンティワン

あなた任せから、わたし次第へ。

* 梓会加盟出版社を紹介してゆきます

梓会 カモノハシ 通信

Azusa-kai Library Club



書店は本の森。出版梓会は、事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

たまには自分の日常を離れて、
世界を愛でてみませんか。

今回のテーマは、
「花鳥風月・風流韻事」。

世界の美しさに注目・追求してきた
さまざまな記録を一堂に。



28号(2025年11月)
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





日本の美学の底には「暗がり」と「翳り」がある。

暗がりに潜む美を写し撮ったのは「気配を撮る名匠」と評される大川裕弘。『陰翳礼讃』の世界がより深く理解できるビジュアルブックです。デザイナー、建築

家、ミュージシャン、画家、編集者、読書家、美大・芸大系の学生、もちろん谷崎ファンも、必読の書。

陰翳礼讃

谷崎潤一郎:文 大川裕弘:写真 パイ インターナショナル
四六変型判並製 256頁 2018年1月刊 ISBN:9784756250124 2,090円



読んだらきっと、飛騨・高山に行きたくなる民藝エッセイ。

飛騨高山の山間に築 150年の古民家を移築し、工芸店「やわい屋」を営む店主のエッセイ。柳宗悦の民藝運動や、飛騨地域の民藝運動の歴史、やわい屋誕生物語を語りつつ、これからの民藝を描く。民藝に関心があるけどよく分からない、という人におすすめの一冊。

わからないままの民藝

朝倉圭一:著 作品社
四六判並製 272頁 2024年7月刊 ISBN:9784867930335 2,970円



いつもの風景が姿を変える 能楽師・安田登が誘う精神の旅

単なる偶然、でも、それは意味ある偶然かもしれない。世界各地へ出かけ、また漱石『夢十夜』や三島『豊饒の海』、芭蕉など文学の世界を逍遥し、死者と生者が交わる地平、場所に隠された意味を探し求める。能楽師・安田登が時空を超える精神の旅へといざなう。

見えないものを探す旅——旅と能と古典

安田登:著 亜紀書房
四六判並製 184頁 2021年6月刊 ISBN:9784750516943 1,650円



「ぼくはつくらないけど短歌に執着している。」(吉本隆明)

単調で、複雑な意味の表現をしていないにもかかわらず、なぜ芸術的感銘を与えるのか——『言語にとって美とはなにか』以来の素朴な疑問を携え、長塚節、斎藤茂吉、石川啄木から俵万智まで、17人の歌人の作品を読み解き、定型短詩の魅力を味わう。

ことばの力 うたの心——吉本隆明 短歌論集

吉本隆明:著 幻戯書房
四六判上製 272頁 2022年7月刊 ISBN:9784864882507 2,640円



世阿弥の幽玄、芭蕉のさび——「日本的なるもの」とは何か？

日本の芸能や文学を規定する美意識として知られる「幽玄」や「さび」。作品当時の文脈と近代以降の再発見／再評価以降で微妙に意味やニュアンスを変えつつ「日本の美意識」と呼ばれてきた観念の本質とは。曖昧なままにされてきた価値基準を美学的観点から再考する。

幽玄とさびの美学

西村清和:著 勁草書房
四六判上製 328頁 2021年5月刊 ISBN:9784326851973 4,070円



港町に開いた文化と芸術の花

江戸時代から明治時代にかけて日本の海運を担い、交易によって繁栄をもたらした北前船。日本海沿岸から瀬戸内海、そして大坂までの各寄港地には文化と芸術、そして数々の唄が生まれた。その誕生の背景を現地調査をもとに、港町を旅する感覚でまとめた一書。

北前船が運んだ民謡文化

三隅治雄:著 第三文明社
四六判並製 272頁 2021年7月刊 ISBN:9784476033816 1,760円



不朽の名作 待望の新訳復刊！

不朽の名作『Derek Jarman's Garden』が美学者であり庭師でもある訳者によって約30年ぶりの新訳復刊。AIDSで逝去した映像作家のデレク・ジャーマンは原子力発電所至近の土地で死の直前まで庭づくりに没頭した。生前最後の写真エッセイ。

デレク・ジャーマンの庭

デレク・ジャーマン:著 ハワード・スーリー:写真 山内朋樹:訳 創元社
B5判上製 148頁 2024年4月刊 ISBN:9784422731452 4,840円



世界一おしゃれな 102歳のスタイル

「自分の着たい服を服を着ている人は、いつも魅力的で輝いて見えます。自分らしくいられるからです」……。2024年に世を去った世界的ファッション・アイコンの唯一無二のスタイルと人生哲学を語る言葉の数々が、私たちにエンパワメントしてくれる！

フォトエッセイ アイリス・アップフェル

アイリス・アップフェル:著 桐谷美由紀:訳 原書房
A5変型判並製 288頁 2024年12月刊 ISBN:97848562074914 2,970円



日本全国の伝統的なお祭りをイラスト図解で季節ごとに紹介

地域の歴史や風習にもとづく「キャラ立ち」した全国各地のお祭りを、小中学生に大人気の「現代絵師、いとうみつる先生」がキャラクター化。わかりやすい解説とともに紹介。日本の歴史や伝統文化・宗教・民俗、暦や四季の味わいまでもが学べる教材としても好適。

キャラ絵で学ぶ！ 日本のお祭り図鑑

山折哲雄:監修 小松事務所:文 いとうみつる:絵 すばる舎
A5変型判並製 144頁 2024年6月刊 ISBN:9784799112212 1,760円



山にハマった友人に誘われ高尾山へ。360度見渡せる山頂ビアガーデンで仲間と乾杯！楽しかったな～帰りはリフトでラクチン♪薬王院には天狗もいたよ！